

# ZION

シオン

No.

# 27

2007



①大学1号館



②大学3号館



③大学北体育館



④高校体育館



⑤カウンセリング研究所



⑥中学・高校6号館



⑦高校1号館



⑧高校2号館



⑨格技場



⑩高校3号館

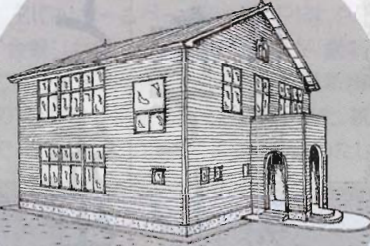


⑪高校4号館



⑫国際教育館

記念会館イメージ図



Here!



⑬記念会館予定地



記念会館  
(平成20年完成予定)  
建設場所が決まりました!



⑭大学4号館



⑮若草寮



⑯デザイン館



⑰大学6号館



⑱セバスチャン館



⑲キアラ館



⑳学生会館



㉑大学図書館



㉒シオン館



㉓大学8号館



㉔モアハット記念館



㉕大学南体育館

# 「押しかけ妻でした」と、先生

## 奥様「さて、どううでましたでしよ」

国語担当 松崎健二郎先生 水戸市内原町在住

昼過ぎ、旧内原町役場前の広場で先生のお迎えをうけた。そこから300m西、杉山を前にした瀟洒な自宅に案内された。3月上旬、杉は十分な花粉を蓄え、時々風で舞い落ち鼻腔の中に容

赦なく降り注ぐ。凸凹コンビ強度の花粉症である。眼を真っ赤にした両名を座敷にご案内いただく。

先生は昭和22年生まれ、石岡市の産。大学は仙台、東北大学文学部で国文学

を学ばれた。卒業後、宮城学院、聖ウルスラ学院で教鞭を取られる。聖ウルスラ学院の2年生に奥様の篤子さんが生徒で在学していた。

篤子夫人「内容のある授業で感激しました。また変わった感じの先生でした」先生「彼女は卒業後習い事をしていました。だが、今から考えれば押しかけ妻だったかもしれません」

77年下の奥様と仙台で結婚する。昭和49年本校に国語の教師として就任。奉職32年になる。

子供さんは4人。篤子夫人「わが家は女系家族でしたから男の子が生まれてうれしかったです」名前がユニークである。長男・真日(まひる)さん32歳。次男・風(かぜ)さん27歳。長女・野(の)さん24歳。三男・海(うみ)さん21歳。いや、見事である。

奥様の趣味は料理。酒好き先生は三十年で三千本の一升瓶が体内を通過したという。たまに友人たちが来ると、五



本校に赴任して2年目の夏(昭和51年)

六時間は飲む。奥様は料理に接待に任せて舞い。「時々、居酒屋のおはちゃんになったようです」

先生は日本中の一升瓶のラベルを集めている。見せていただいたが、その数や数百枚はある。

奥様は今、膠原病と闘われている。難病ではあるが共存し、平安に暮らしたいと話された。

先生「しつかりした、私にはでき過ぎた妻です」篤子夫人「飲むと楽しい人です。それと、自分の勉強をし続けているところがいい」

先生に現状の学校と生徒についてお尋ねした。

「生徒も学校も質的に良くなってます。それと全体的に落ち着きが出ています。ますます良い学校になりますよ」

玄関まで見送っていたとき、花粉で真っ白になった車にそとと乗りお暇した。

(H・S・Y・S 記)



「先生と生徒の関係」時代の楽しいお話もうかがいました

あの頃を語る

昭和52年

1977

28回生

3月、関西方面への修学旅行



山後楽園

入口

関根(大内)裕子  
高品るり子  
高沢(丸野)千歳  
堀越(小野)泉  
岡田由紀子  
大高緑  
根本静子

# ”高級“カメラと”高級“弁当

## 証言①堀越泉(旧姓小野)

私が首から下げているカメラは、重量感タップリのニコンF1の一眼レフ。父親の商売道具をちよいと拝借しました。撮影所の集合写真で、岡っ引き姿の男優(?)の隣ではにかんでいるのが私です。

## 証言②関根裕子(旧姓大内)

私達は英語選抜クラスで私大文系を受験するのに有利なクラスでした。ドイツ留学経験者がいたり、コネチカットからの留学生がいたり、バラエティなクラスでした。男子は少数、女子が実権を握っていました。

## 証言③高沢千歳(旧姓丸野)

でも、体育祭のまつ最中に大雨が降り出し、びしょぬれになりながら最後までやりぬいたあの時は、男子がちよっぴり頼もしく思えました。大森孝夫校長が健闘を称えてくださり、感激したのを覚えています。

## 証言④根本静子

関根さんのご実家は旅館だったでしょう。板さんが高級食材で作ってくれるお弁当、塗りのお重にびっしりと詰まって、もう最高!!私はそれを食べて大きくなりました。育ての親です。ありがとうございます!

## 証言⑤関根

そうね。ランチタイムはゴウカでした。小名浜名産「うに焼」なんぞもあつたりして…。午後の授業は睡魔との戦いでした。そんな時は、居心地のよい保健室で気分をきりかえて…。養護の海老沢幸子先生、お世話になりました。

## 証言⑥堀越

高校時代のアルバムを捜していたら、当時の交換日記を見つけてました。二冊のノートに思い出がぎっしり、少しずつ読み返しています。この袋の中は手紙です。結構な量でしょう? 便箋、封筒もいろいろ。ノートの切れ端もあります。内容は、深刻な悩みや相談事より、たわいのない乙女のつぶやきみたいなものでした。

## 証言⑦根本

そういえば、小澤剛男先生が印がついたご自分専用の原稿用紙を使っていたらどうでしょう? 文学少女の私としては、ずっと気になっていました。

## 小澤剛男先生談

印の原稿用紙、覚えていましたか。現在は「担任通信」に形を変えて、年に4回程発行しています。12年振りにはクラス担任をさせて頂いた時に、生徒や保護者の方々のコミュニケーションの場として始めました。



岡 順子 (26回生) アモーレパシフィック(ジャパン) 東京都杉並区高円寺在住

老舗「入船堂」肝っ玉おかみさん

創業170年、手作り煎餅の店を守る3代目女主人である。この端正な佇まいのお店も、夜になると、豪快で温かい人柄の正子さんに惹かれて集まる16回生達のおしゃべりとお酒の楽しいサロンとなる。

長男の佐川大輔さんは、小劇場(シアターモーメント)の役者さんで、テレビにも出演。「VOSS」のCMではCM大賞を授賞するなど活躍中。

次男の亮太さんがお店を継ぎ、何の悩みもなさそうな正子さんであるが、地味な老舗の経営、貴重な手作りの物が生き残るための努力など、その口調にもわかeni真剣味を帯びてくる。

来年は還暦記念混浴温泉旅行を企画中とか。16回生、お楽しみに!



佐川 正子 (旧姓山野辺) 16回生 水戸市南町3丁目在住



白石 美枝子 (旧姓粉川) 6回生 水戸市上水戸在住

なぎなたでパワーを、花で癒しを

早朝3時に起床、「修身」の集いに参加し、今日の過ごし方のヒントを得て期待の1日が始まる、という毎日。

3人の息子さんが、小学生になると同時に東武館でなぎなたを習い始め、美枝子さんも便乗入門し、今年で39年になる。今では学習センターで指導者として活躍。週4回はなぎなたを振り回して過ごしている。日常の人と人の関係もお互いの距離の取り方(間合い)で、最高の関係を保つことができることなどなぎなたから学んだことは沢山ある。今は今年茨城で開かれる年輪ピックのための練習に余念がない。張りつめた神経を癒してくれるのは、これもプロ級のパンフフラワーの数百本のバラの花作りなのである。

歌うキャリアウーマン

昨年の夏に韓国の最大手の化粧品会社(上記)が、大阪と東京のデパートにオープンした。順子さんは外資系のIT企業に勤めていたが、管理部管理部長としてスカウトされ、総務・販売前線の指導などキャリアウーマンとして活躍中である。

一方、週末はモードを完全に切替えて、ジャズボーカルのレッスンを楽しんで、8年になる。どおりで「自社の製品には、自然のパワーが込められていて効果抜群!」と美しいアルトで話す声にも説得力がある。

順子さんのお父様は高校の教頭として、お祖父様は初代事務局長として本学園に貢献された。お祖母様は今年100才を迎えられて、今でも順子さんのお目付け役だそうで元気があふれている。



日本とパリに仕事の拠点を持つ菅野さん。パスポートにはスタンブがびつりと押され余白はすぐうまつてしまふ。まさに、ジェットセッターのビジネスウーマンだ。菅野さんは、パリ・トラディショナルエステティックの会社「アロマトック」を経営している。パリにサロンを二軒とセラピストスクールを運営し、実家のある東海村と芝浦にもオフィスやスクールを持つ。関連用品の販売やホテルのサロンのプロデュースも手がけている。十数年前、旅先のパリで伝統的

●いま輝いています●  
**Bright**

アロマの伝道師

パリ・トラディショナルエステティック「アロマトック」経営  
菅野真由美(旧姓近藤・18回生)  
日本オフィス●東海村船場767-8



ジンバランの丘の上に立つパリ店

インドネシア語を学ぶことから始まり、文化や習慣の全く違うパリに家を持ち、ビジネスとして成功させてきたのは並々ならぬ努力と様々なトラブルを乗り越えてのことだ。パリのサロンを訪れるのは大半が日本で予約を入れて訪れる観光客で、求められるレベルも高い。現地のスタッフは日本で教育を受けることもあるという。菅野さんがこの業界の先がけ的存在で、トップクラスのグレード

## バスケの乗りで、実習も楽しく

小学校の時のミニ・バスケットに始まって、大学の今もバスケット部で体を動かしている。そのパワーで、1年の時の「介護実習」もお風呂の世話からレクリエーションまで、お年寄りの気持ちに寄り添い、一緒に動き、歌い、実習を楽しんだという。

もう一つは、サークル「Puck」の活動。近所の子供達を集め野外遊びやキャンプに参加し、一緒に体を動かし、子供達の心の動きを追いかける。

すべて、児童教育科を専攻し、小学校の先生になりたいとの希望につながる素晴らしい活動だ。人間と人間のコミュニケーションを体を使って実感していくことが、今一番楽しいという。



**小田倉 真季**  
(56回生)  
茨城キリスト教大学2年  
日立市田尻町在住



**新野 貴之**  
(46回生)  
東京都葛飾区在住

## 良きパパ、良き夫、良き市民

東京JA、全国共済農業協同組合連合会に勤務。7年目になる。

毎日、堅い職場から家へ戻ると一変。元気な子供達に囲まれて、賑やかなくつろぎのひとつきを過す。北海道大学で出会った奥さんと、早々と結婚。7才の女の子、4才と2才の男の子の3人の“すっかりパパ”である。休日も近くの公園やショッピングモールで過ごすことが多いとか。

反面、大切な我家とご近所の平和を守るために、マンションの管理組合の副理事長も率先して引き受けている。人生のステップを確実に真面目に歩いて行く姿勢が感じられる。奥さんと一緒にゴルフを楽しむ夢も、いつか、しっかりと叶うにちがいない。

## 「顧客獲得」今どきの薬局

平のみなみ町調剤薬局（いわき薬品経営）で3人の女性スタッフと、薬剤師として仕事をしている。「薬局は昔のように事務的に薬をお渡しする時代は終わりました。まさにサービス業です」と力が入る。独立して町に出た薬局はお客を得るために、お客のタイプに合わせて、臨機応変に対応し、お客の心をつかむ。薬の配達もする。と話す深瀬さん。辛いというより、その仕事を大いに楽しんでいるようだ。

休日には愛妻の祐子さんと友人達とルアーフィッシングに出かける。湖ではブラックバス、小名浜や大津港ではスズキを釣る。適度な運動が、又仕事へのエネルギーとなる。



**深瀬 孝治**  
(36回生)  
福島県いわき市在住

## 夫婦シオン

五来克徳さん(35回生)

美恵さん(旧姓鈴木・35回生)

日立市水木町在住



お2人は同級生で、席も隣同士。担任は島津先生と小貫先生。克徳さんは応援団とサッカー部に所属した、やんちゃ坊主の硬派。美恵さんは吹奏楽が好きで、落ちついて穏やかで静かな女学生。好対照なお2人。好意をもった克徳さん、美恵さん宅へ電話すれども両親は取り次いでくれない。大変困った。

2人とも大学に進学して、克徳さんは学生時代にレストランのアルバイトで料理技術を取得して、

料理人として腕をみがき、東海村村松にダイニングキッチン定食屋東里(とうさと)を25才で開業した。お店も順調、克徳さんの顔つきも真面目で、真剣な態度に美恵さんの両親も納得。2人は28才で結婚された。現在は9才の佑(たすく)君と5才の卓(すぐる)君の4人家族。

「よく働きますし、2人の子供と一緒に遊んでくれます。子供にはパパはとても偉いのよ」といつも誉めています、と美恵さん評。

(株)Certa Baif (株)ANUNGERAH  
FASA SAYANG (株)アロマトーク  
代表取締役社長としてバリで唯一の  
バリ州教育文化局公認のセラピスト  
スクールや2つのSPAを持ち、さら  
にSPA家具、関連用品の設計やサロ  
ンのプロデュースなどを手がける。  
2006年には東京オフィスを開設。



www.aroma-baif.com

を保持しているといわれる由縁は、技術の向上とにより、「マインド」を大切にしているからかもしれない。  
会社のスタッフとして菅野さんをサポートしている双子の息子さん達も、キリスト高の卒業生で、陸上部で活躍していた。  
菅野さんの仕事への情熱を御家族全員が支えバックアップされている。

# 「ZION」 オータムミュージック・ライブII 大成功!!



平成18年10月14日(土)、会場茨城キリスト教学園講堂においてPM1:30より、第2回「ZION」オータムミュージック・ライブが開催された。出演者は一昨年に引き続き15回卒ヒロ・高田さん(Piano)、23回卒青木FUKIさん(Vocal)。卒業生のご協力で1,000枚の前売り券は完売、700人の入場満員だった。

前半をヒロ・高田さんはBass、Drumsを従え8曲を熟演、ピアノのテクニックで十分堪能させてくれた。団塊の世代のスタンダード曲「Take Five」には多くの観客から盛大な声援が飛んだ。

後半、青木FUKIさんは声量のある少しハスキーな声で13曲を歌いあげた。Piano、Bassを伴い得意のシャンソン、最近熱を入れているアルゼンチンタンゴは圧巻だった。少し太めの大病な身体からくる色気がムムムン。得意の「再会」特にリクエストに応じてくれた「小雨降る径」に観客は堪能した。スタンダードといえるタンゴ「ラ・クンパルシータ」はすばらしかった。

最後に二人のジョイント、美男のPiano美女のVocal、「Day by Day」で締めくくった。またアンコールに答えた「舟歌」は八代亜紀を超えるほどだった。

企画員一同、各位に感謝申し上げます。

## 学園祭の超目玉「しおんまんじゅう」

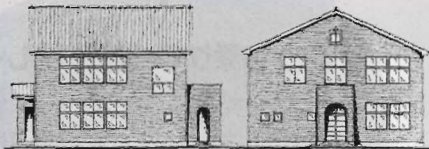


収益は記念館復元資金に!

学園祭への同窓会参加は今年で3回目。ブースには、お馴染みの同窓会グッズ(ロゴ入りTシャツ、マグカップ)に加え、手作りクッキーやブレッド、フラワーアレンジメント等が並んだ。中でも人気は、地元和菓子職人の自信作、名付けて「しおんまんじゅう」。ネーミングに魅かれてか、あっという間に完売した。同窓会本部の面々や日立支部の有志も多数参加。昨年新調のテントの傍らに設けられた「お休みコーナー」では、コーヒーを前に談笑する同窓生や父兄の方々が賑わった。収益金約7万円は記念館復元資金の一部に充てられる。

## 記念会館(同窓会館) 復元

### 募金のお願い



完成イメージ図

## 記念会館(総合同窓会館)平成20年に完成予定 現在募金額790万円、ご協力お願い致します

### ●皆さんの集会場所が出来上がります

学園発足時のシンボルでもあり、また本学の文化遺産でもある旧木造校舎を復元する記念事業を同窓会は推進してきました。平成20年3月をめどに実現する運びになりました。

内部は三階建て、一階は総合同窓会事務局(中学・高校・短大・大学・大学院)と楽しい集いのできるキッチン付のミーティングサロン、二階部分は資料室とクラス会など開催可能なミーティングサロン、身障者用のトイレ、エレベーターも設備します。

建設場所は「ZION」表紙に表示してある高校側の松林駐車場跡に決定しました。来年の総会には紹介できます。

まだ建設資金が不足しております。なにとぞ卒業生皆様のご協力をお願い致します。

『ZION』紙同封の(高校記念館口)振込用紙をお使いください。

尚、「ZION」にもう一枚広報紙振込用紙が同封してあります。二枚入っておりますので両方ともご協力をお願いいたします。

### ■寄付金の送金方法

- 振込先 常陽銀行 大みか支店  
普通口座 1246246
- 受取人 学校法人 茨城キリスト教学園  
(高校記念館口)  
理事長 廣瀬 正
- 依頼人の卒業年度・氏名・浄書・郵便番号・電話番号を明記してください。

## 投稿 日米対抗波高し



手前、日本のオヤジは故宇野鬼芳副校長、向こう側はV.H.ローヤー初代校長。昭和二十七年初夏、大洗遠足時の矢場での「マ」。

両者の弓構えを比べれば勝者は最初から歴然。だが、ローヤー先生あなどれず。弓に触れるのは初めて。打ち起こしの技など知る由もなく、腕力だけで強引にひき絞つての奮戦。自分の的を狙つた箭の矢は隣の宇野先生の的に当たった。

この日、天気晴朗なれど海岸の波は高かつた。(五回生 瀬木 記)

## 女子18回全国高等学校駅伝競走大会に出場!!

二〇〇六年十二月二十四日開催

「女子陸上部」



男子県代表の土浦日大高と共に開会式へ入場する本校女子

昨年11月に開催された茨城県高等学校駅伝競走大会で、2位に5分余りの大差をつけ圧勝した本校女子陸上部は、出場選手全員が区間賞に輝く好成績で、県代表の栄冠を獲得した。全国大会への出場は4年振り11回目。5区間約21kmのコース(1区6km、2区4km、3-4区3km、5区5km)を各都道府県47チームが走り抜けた。本校選手は、1区を37分力走。徐々に順位を上げ、発着点の西京極競技場に入ってから粘りのある走りで1人を抜き、23位と健闘した。4月には有力な選手候補も入学した。頼もしい先輩部員達とのチームワークで、今年も全国大会への連続切符を手に入れてほしいと期待している。



## これからの活躍にエール!! 3年・砂川絵里佳さん

県内でも人気の高まりつつあるフィギュアスケート。女子強化選手4名のひとり、本校の砂川絵里佳さんは、小学3年でリンクに立ち、中学2年で女子ジュニアの強化選手に選ばれた。昨年12月の国体予選会では惜しくも上位入賞を逃したが、安定してきた高いジャンプを確実にしたいと、放課後リンクにダッシュする毎日である。

〈事務局より〉

### ■ホームページ「ZION」をご覧ください!

ZIONホームページ(以下HP)は、2005年4月1日に開設されました。“会報”は年1回発行していますが、最新情報は、リアルタイムでしか伝えることができません。HPを通じて最新情報をフルタイムで発信していますので、ぜひ、HPをご覧ください。また、携帯電話からもアクセスできますので、ご利用していただくようお願いいたします。



HPの内容を紹介しますと、5つの分野から構成し、1つめは、“概要”で、会長挨拶、歴代会長、役員、会員、会則、ZIONの由来が掲載されています。2つめは、“インフォメーション”で、最新情報、イベント、ZIONグッズ、現在のシオンの様子、同窓会、クラス会報告などが掲載されています。3つめは、今まで発行されたNo.1からNo.25までの“会報”が掲載されています。4つめは、“リンク”で、高校、大学、中学同窓会と同窓生のHPにもリンクされています。最後は、“その他”と称し、自由に書き込みができる掲示板などを掲載しています。

アクセスの仕方は2つの方法があります。直接アドレス(URL)“http://zion.cool.ne.jp”、携帯電話からは“http://zion.cool.ne.jp/keitai”と入力しますとアクセスできます。これらのアドレスを書かなくても“yahoo”などの検索ソフトから“ZION同窓会”と入力して検索し、これをクリックするとアクセスできます。同期会を開催した場合には、幹事さんがHPの“お問い合わせ”に写真を同封して報告していただきますとすぐ掲載できるように準備していますので、報告していただくようお願い申し上げます。このHPの掲示板などを利用して、有効活用していただければ幸いです。

同窓会事務局

### 開催しました



■ひたちなか市部  
10周年記念総会  
9月30日、センチュリー  
那珂四川飯店で。5回生  
から38回生20名が参加。



■日立支部第2回総会  
11月26日、高校大会議  
室で開催。約30名が参  
加して事業計画を話し  
合い、親睦を深め合った。

### 開催のお知らせ

- 日立支部第3回総会開催決定
  - ・日時:平成19年11月18日(日)14時から
  - ・場所:茨城キリスト教学園高校3階大会議室
  - ・会議終了後、懇親会を予定。常陸太田から北茨城方面までの卒業生、母校で会いましょう!
- 福島支部  
来年度(2008年)、支部同窓会を開催します。全員集合!
- コーラス部同窓会(どなたもどうぞ、会費なし!)  
日時:8月5日(日)午後1時から  
場所:高等学校音楽室  
梅津先生も参加されます。皆と一緒に賛美歌を歌いましょう!  
(問い合わせ=0294-53-1448 荒崎久子)

退職  
されました  
ありがとうございました

井坂光宏先生=外国語(英語)  
(1970年4月から37年間)  
藤岡尚先生=宗教(聖書)  
(1970年4月から37年間)

### 「ZION」発行への寄付のお願い

12,000人以上の卒業生各位への「ZION」発行と送料で200万円以上が必要です。毎年資金が不足しております。一人2,000円以上のご協力をお願い致します。(「ZION」紙同封の振込み用紙をご使用下さい)

# 校長

に聞く

島津和幸  
先生



プロフィール/山形県出身、1975年茨城大学人文学科卒業。国語教師として本校に就任して32年。平成に18年4月校長就任。美津子夫人、三人のお嬢さんと水戸市愛宕町に在住。

### ●校長に就任しての抱負と方針

2007年度に一貫一期生が高校に初めて入学します。いよいよ中高が連結するわけです。わが学園の中学も高校も各々の歴史と伝統を背負っています。各々の歴史と伝統を損なうことなく統合することが重要だと思っています。

### ●学園記念館建設についての感想

学園の歴史と伝統は、学園にとって何物にも代えがたい財産です。それを目に見える形で具現化して、学園内に永く留めようとするこの度の記念館建設は、この学園に集う者が絶えず学園の原点を振り返る拠所を与えてくれるでしょう。

### ●同窓会活動の現状と期待

毎年、総会とホームカミングデイを開催している同窓会の例は、まったく聞いたことがありません。驚異的な活動力だと思います。これほど熱心に学園に帰郷(ホームカミング)してもらえることに、ただただ感謝あるものです。

### ●その他

少子高齢化が進行する中、同窓会の皆様が寄せてくださる応援の声は、何よりも私たちを励まし、勇気付けてくれるものです。3世代にわたるシオンファミリーの遺伝子をさらに次の世代に引き継いで頂きたいと思っています。

### 編・集・後・記

会報の表紙写真を撮りにキャンパスを散策した。古い建物が取りこわれ、新しい校舎が建ちキャンパスの歴史が流れる。卒業生それぞれにシオンの丘の思い出は違ってもいい。しかし、きっと皆の記憶の中には、松林の風の音、芝生の香り、賛美歌のメロディー、そしてシオンの丘に薫として建ち続けた木造校舎があることだろう。

同窓会の念願であった、この木造校舎を記念館とする復元工事がいよいよ始まることになった。卒業生からの多大なる寄付が大きな力となった。私たちは記念館の存在から建学の精神を改めて思い起し、又この稀にみる自然豊かなキャンパスから感じ学んだことを思い出してほしい。完成まで私たちは見守り、ひきつづき応援をあおきたい。(MA)

お待ちしてま〜す!

平成19年度

# ホーム・カミング・デイ

■日時:6月10日(日)AM11:00~PM2:00

■会場:学生会館(元短大学生ホール)

★今年は、11、21、31、41、51回生が、ヒーロー及びヒロインですゾ。いいことあります。こそって出席くださ〜い。

★差し入れは、もちろん大歓迎です!

### ●第1部:平成19年度同窓会総会

(お知らせ事項がいろいろあります)

### ●第2部:「楽しい集い」と「ミュージック・ライブ」



## O・M・B <オール・ミュージック・バンド>

- ・EG・Vo:熊倉正邦 大内 明
- ・EB:吉岡敬司
- ・Dr:薄井 悟
- ・AP・Vo:後藤正美 (バンドリーダー・19回生)

1975年結成のO・M・Bは、スタンダードなスウィングジャズをはじめ、ブルースジャズ、1950年代からのオールディーズナンバーと幅広いジャンルをこなす注目のバンドです。

これまで各種コンテストで入賞する一方、「ひたちなか市を音楽でまちづくり」「ひたちなか市からの情報発信」をモットーに、チャリティーライブや各種団体主催のパーティーイベント、敬老会、福祉施設などへのボランティア活動に積極的に参加協力を続けています。

### <出席される先生方です>

島津 和幸 井坂 光宏 小澤 則男 関 和彦 安嶋 龍孝 堀 美智子

※他にも出席を予定されている先生がたくさんいらっしゃいます。お楽しみに〜!

■同窓会事務局:0294-52-3215



フランス菓子 ルブラン

水戸市千波町370 TEL.029-241-1991  
http://www.leblanc.co.jp

株式会社 中村オフィス

中村 潤治

Nakamura Junji

〒310-0062 水戸市大町3丁目3番32号  
TEL:029-300-4747 FAX:029-300-4748  
nakamuraoffice@yahoo.co.jp



株式会社 井上工務店

井上 美智子 (27回卒)  
井上 朋子 (51回卒)  
井上 聡子 (55回卒)

茨城県ひたちなか市和田町1-10-13  
Tel:029-263-0211 Fax:263-0215  
http://www.inoue-koumuten.jp

茨城の子供たちの未来のために、  
茨城の保育者と親御さんのために、  
そして、地域の発展のために、  
茨城ひかりのくには、貢献いたします。

月刊絵本・幼児教材・園児服・保育用品 ●と顔を結ぶコミュニケーション情報サイト  
公園遊具・情報集・情報集 ●発行所/子育てネット  
給食用無添加食品・園児総合保険 www.hikarinokuni.com/



株式会社 茨城ひかりのくに

茨城県水戸市千波町1286-7 〒310-0851  
TEL.029-241-6600(代) FAX.029-243-0664  
E-mail:otegami@hikarinokuni.com

豪華キャスト・夢とロマンに満ちるジャンソンの祭典

水戸巴里祭



青木 FUKI (23回生) 菅原洋一 他 出演者11名

2007年7/19(木)

開場 17:45 開演 18:30

茨城県立県民文化センター

主催 水戸巴里祭実行委員会

■入場料:S席 当日6500円 前売6000円 (全席指定)  
A席 当日4500円 前売4000円

■お問い合わせ・チケット販売:茨城県立県民文化センター 029-241-1166  
水戸巴里祭実行委員会 042-381-0421 www.mcbaribara.jp  
茨城キリスト教学園高等学校同窓会事務局 0294-52-3215  
チケットぴあ 0570-02-9999 京成百貨店プレイガイド 029-231-1111

同窓会も応援し  
入場券を販売中!

★広告掲載(有料)希望される方ご一報ください

茨城キリスト教学園高等学校同窓会報

シオン No. 27

●発行日/平成19年5月1日

●編集人/酒井海起 ブキヤナン理枝子 佐藤寿子 手塚正子 荒川真理子 小沼和輝

●発行人/鈴木崇志男

●発行所/〒319-1295 茨城県日立市大みか町6-11-1 TEL.0294-52-3215 FAX.0294-53-9927 茨城キリスト教学園高等学校同窓会

●http://zion.cool.ne.jp